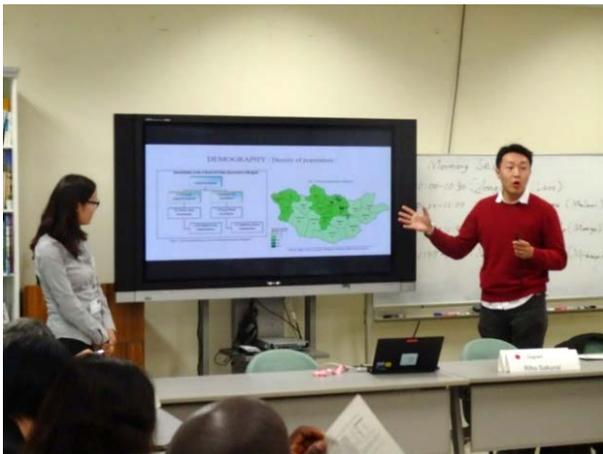


11月7日(木)

本日はカントリーレポートとグループディスカッションが行われました。

カントリーレポートでは、それぞれの国からの研修員が教育の現状、教育政策、それらの問題点などについて報告した後、その報告に対しての質疑応答を行いました。午前中に、ラオス、マラウイ、モンゴル、ミャンマーの4か国、午後からはネパール、パプアニューギニア、ウガンダ、ベトナムの4か国の計8か国のプレゼンテーションがありました。カントリーレポートのプレゼンテーションを通して、各国の現状や問題を共有、確認することができました。



カントリーレポート後は、4つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。班ごとに課題を決め、30分間話し合った後に他班にプレゼンテーションをするという流れでした。このディスカッションには、「カントリーレポート」を聞きに来た学生も議論のメンバーとして参加し、多くの有意義な意見を得ることができました。また、課題への取り組みとして、「何を」ではなく「どのように」という視点を大切にしていきました。

